研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ①

○ <u>背景·課題</u>

- ・近年、研究活動のグローバル化が進む一方で、研究者に対する外国政府や外国機関からの不当な影響により、 我が国の企業や大学等の研究者の意図しない利益相反や技術流出等への懸念が顕在化。
- ・こうした新たなリスクに対応しつつ、必要な国際協力進めていくためには、研究の健全性・公正性 (研究インテグリティ)を確保し、国際的に信頼性のある研究環境を構築する必要。

参考:「研究活動の国際化、オーブン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保にかかる対応方針について」(令和3年4月27日 統合イノベーション戦略推進会議決定)

我が国の科学技術・イノベーション創出の振興のためには、オープンサイエンスを大原則とし、多様なパートナーとの国際共同研究を今後とも強力に推進していく必要がある。同時に、近年、研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されており、こうした中、我が国として国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっている。

○ リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ

研究の国際化やオープン化に伴う新たなリスクに対し、 対応を進める部分

を進めてきた部分従来、明示的に対応

産学連携による利益相反・責務相反に対する適切な対応や、 安全保障貿易管理等の法令順守などに関する部分

不正行為(捏造、改ざん、盗用) への対応としての部分 その他不正行為(二重投稿、不適切なオーサーシップ)への対応としての部分

新たに求められる部分 (研究活動の透明性を確保し、 説明責任を果たすといった、 研究者や研究組織としての 「規範」)

図 研究インテグリティ全体の構成

図:内閣府作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針(概要)」より抜粋

1

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ②

- 科研費でのこれまでの主な対応
 - ① 研究計画調書の「研究費の応募・受入等の状況」欄
 - ・国内の競争的研究費のみならず、国外も含めた研究資金を記載
 - ・記載した研究課題を応募又は受入れるに当たっての国内外の所属組織・役職(兼業を含む)を記載
 - ② 上記の情報も含む研究計画調書の内容について、所属研究機関の取扱いに基づき機関内で適切に共有するとともに、外国為替及び外国貿易法(昭和24 年法律第228 号)(以下、「外為法」)に基づき規制されている技術の取扱いを予定している場合には、当該法律や所属研究機関の規程等を踏まえ、安全保障貿易管理体制や対処方法等を十分に確認した上で提出

令和7(2025)年度公募からe-Radに登録された以下の情報を科研費電子申請システムに連携します。

【科研費電子申請システムに連携する情報】

- ・応募中の研究費
- ・受入予定の研究費
- ·e-Rad外の研究費(民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費など)
- ・兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む現在のすべての所属機関・役職
- ・所属機関への研究インテグリティ誓約状況

e-Radの【研究者情報】において、研究インテグリティに係る情報を登録していない場合、 応募が出来ませんので、ご注意ください。

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ③



<科研費電子申請システムの変更点>

①研究費の応募・受入等の状況画面の項目新設(左図)

- (3)e-Rad外の研究費
- (4)兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、 雇用契約のない名誉教授等を含む現在のすべて の所属機関・役職

②e-Rad連携機能追加

- <研究費の応募・受入等の状況画面> e-Radから連携した研究インテグリティに係る 情報を必要に応じて追加
- <研究課題情報画面 研究組織欄> 研究代表者及び研究分担者が研究インテグリティ に係る情報を所属機関に適切に報告していること を誓約状況で確認

※画面は修正する可能性があります

3

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ④

JPN ⊟≭

JPN 日本

応募情報入力(研究費の応募・受入等の状況)画面

・ 独立行政法人医療OOO機関 OOO委員会 委員

〇〇〇〇機関 〇〇〇委員会 専門委員



操作手順(e-Radから連携した登録情報を追加)

① 応募情報入力画面の e-Rad登録情報を参照 ボタンを クリックすると、ポップアップ画面が立ち上がる。

【ポップアップ画面は以下の4つの項目で構成】

- (1)応募中の研究費
- (2)受入予定の研究費
- ※金額は連携対象外
- (3)e-Rad外の研究費
- (4)兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、 雇用契約のない名誉教授等を含む現在のすべての 所属機関・役職
- ② 追加したい研究費等のチェックボックスにチェックを入れる。
- ③ ページ下部 応募情報に追加して閉じる をクリックすると、 ②で選択した情報が応募情報入力画面に追加される。

電子申請システム上でも修正可能。 ただし、以下の情報を修正した場合e-Radへは反映されな

ただし、以下の情報を修正した場合をいため、e-Radでも必ず修正が必要。

【e-Radで修正可能な情報】

(1)~(3)のエフォート: エフォート一覧画面

(3)~(4) : 研究者情報の修正画面

注意

e-Radとの応募・受入情報の連携には<mark>通常60分程度</mark>の時間を要しますが、さらに時間がかかる場合もあります。 応募締切直前に登録しても連携されない可能性がありますので、

応募締切直前に登録しても連携されない可能性がありますので、 時間に余裕をもって登録ください。公募開始前から登録可能です。

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ⑤

【研究組織(研究代表者及び研究分担者)】

| 果蔬状配 | 研究インテク リティ無約状 兄 (e-Rad登録 情報連携) | ES | 氏名 (年齢) | 1.所配研 2.部局 3.融 |
|------|--|-------------|--|----------------------|
| | 無的していな い | 研究代表者 | (研究各番号) 99999999 (フリカナ) ダイヒョウ イチロウ (漢字等) 代表 一郎 (英語) Delhyou Ichirou (年齢) 00才 | 1.AAA大 AAA L |
| | | | | 2.AA学E AA De |
| | | | | 3.数接 Profes |
| ▲ | 誓的している | - 【研究分配者 ✔】 | (研究者番号)11111111 | 1.AAAX AAA U |
| | | | (フリカナ) ブンタン イチロウ | 2.AA学B AA De |
| | | | (漢字等) 分担 一郎 | |
| | | | (英語) Buntan Ichirou | 3.教授 Profes |
| | | | (年龄) | |

※画面は修正する可能性があります

<研究代表者及び研究分担者の誓約状況確認>

- ●研究組織(研究代表者及び研究代表者)欄に「研究インテグリティ誓約状況」項目を新設しました。
- ●研究代表者及び研究分担者全員が「誓約している」 となっていない場合、応募ができません。
- ●研究代表者は当該画面で誓約状況を確認、 「誓約していない」研究者には、所属機関への 誓約を求め、e-Radで登録するように依頼して ください。(登録手順は次のスライド参照)

注意

e-Radとの研究者情報の連携には通常10分程度の時間を要しますが、さらに時間がかかる場合もあります。 応募締切直前に登録しても連携されない可能性がありますので、時間に余裕をもって登録ください。公募開始前から登録可能です。

)

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について ⑥

<e-Rad 研究インテグリティに係る情報の入力>





操作手順

- ① e-Rad トップ画面右上に表示されている研究者氏名 のプルダウンより、【研究者情報の確認・修正】を クリック
- ② 続いて表示される「研究者情報の修正」の画面で 【所属研究機関】タブをクリック
- ③ (1) e-Rad 外の研究費、(2) 兼業、外国の人材 登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない 名誉教授等の記入欄に必要事項を入力

e-Rad外の研究費:下記(A)または(B)に該当する研究費

- (A):競争的研究費ではないもの
- (B):競争的研究費に該当するがe-Radで応募を 行っていないもの

<以下については入力不要>

- ・e-Radに登録されている事業実施中の研究費
- ・応募中の研究費
- ・受入 (採択) 予定の研究費
- ④ 必要に応じて【行の追加】をクリックして行を追加
- ⑤ ③の事項について適切に所属機関に報告をしていることを確認のうえ、「(3)誓約状況」のチェックボックスにチェックを入れる

注意

※⑤は必須となります。研究代表者及び研究分担者全員 チェックが入っていない場合、応募できません。